

2023年3月期第2四半期 決算説明会 —事業報告—

2022年10月26日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】4552

【問合せ先】管理本部 広報・IR室 北村（TEL 0797-32-1995）

- 国内販売状況ハイライト
- サステナビリティハイライト
- R&Dアップデート

2022年

- ◆ 5月 – WEB市民公開講座「知ってほしい！伝えたい！希少疾病ムコ多糖症」を開催
- ◆ 7月 – サステナビリティ推進に関わる3委員会の設置
 - 台湾のCDMOであるMycenax Biotech Inc.の第三者割当増資の引受を決定 
 - **JR-401X** グロウジェクト®のSHOX異常症における低身長への効能追加にかかる一部変更承認申請
- ◆ 8月 – **JR-141** ブラジル連邦共和国において製造販売承認申請非承認の告示 
 - 成長ホルモン治療における服薬管理アプリケーションソフトウェア「めろん日記®」のリニューアル公開
- ◆ 9月 – 国立大学法人京都大学への寄付を目的とした第三者割り当てによる自己株式の処分
 - オランダ王国に、欧州における開発活動の拠点となる子会社 JCR Europe B.V.を設立 
 - 経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択
- ◆ 10月 – シスメックス株式会社と再生・細胞医療領域の研究開発などを行う合併会社 AlliedCel株式会社を設立 
 - 2期連続で子育てサポート企業として「くるみん」認定を取得
 - 新製剤工場建設のお知らせ 



グロウジェクト®

- 販売数量は堅調に推移するものの、薬価改定（約-8%）の影響を受け2Qまでの売上高は減少。
- 7月：SHOX異常症における低身長への効能追加にかかる一部変更承認申請
- 8月：成長ホルモン治療における服薬管理アプリ「めろん日記®」のリニューアル公開。継続して、包括的なデバイス戦略に基づく施策を実施中。



イズカーゴ® 点滴静注用10mg

- 2Qまでに新たに10名がイズカーゴ®での治療を開始。
- 今年度の治療開始症例は6歳以下の低年齢が多い。
- 軽症型への投与方針を専門医と検討するなど、イズカーゴ®の選択につながる着実な情報提供・収集活動を実施中。



テムセル® HS注

- 投与症例の多くが小児であったため、一人当たりの使用バッグ数が例年より相対的に減少。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により骨髄バンクの新規ドナー登録の減少が報告されている。

サステナビリティへの取り組み

➤ 2022年7月：サステナビリティ推進に関わる3委員会を設置

- ・サステナビリティ諮問委員会
- ・サステナビリティ委員会（担当：専務取締役 芦田透）
- ・環境委員会（担当：取締役 檜山義雄）

現在、サステナビリティ委員会を中心に当社のマテリアリティを特定中。

目指すべき姿

RD・E・S・Gを基盤とする事業活動を通じたサステナビリティの実現

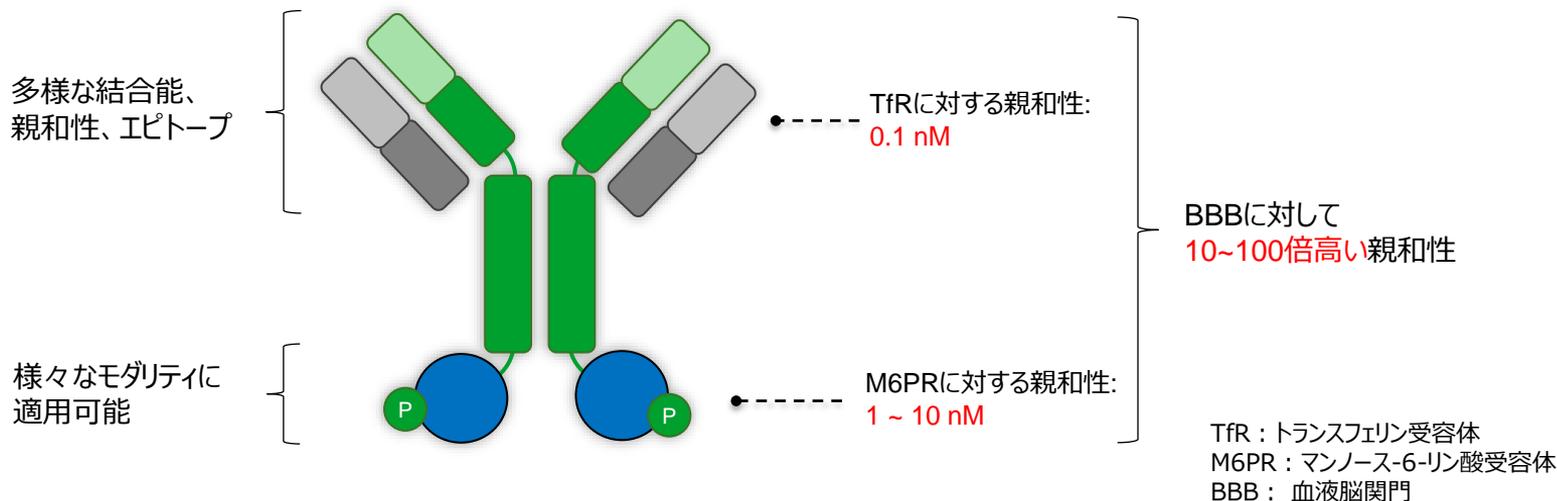
上半期の主な取り組み

 <p>Rare Disease</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社内・社外における認知度向上に向けた取り組みとして、市民公開講座等を実施 	 <p>Environment</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TCFD提言に沿った情報開示を完了 ・ 建設中新工場における環境保全に向けた取り組みを推進 	 <p>Society</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル人財育成研修制度「JCRアカデミー」の開始 ・ くるみんを2期連続で取得 	 <p>Corporate Governance</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンス体制の構築として社外役員2名の追加
---	--	--	---

- 国内販売状況ハイライト
- サステナビリティハイライト
- R&Dアップデート

開発番号	適応症	前臨床	臨床試験	申請	承認	備考
JR-141	△コ多糖症II型 (ハンター症候群)  	承認	臨床第3相試験			<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用 2025年度-2027年度、米国・欧州・ブラジルでの承認予定
JR-171	△コ多糖症I型 (ハーラー症候群 等) 	臨床第1/2相試験				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用 2023年度 Ph3試験
JR-441	△コ多糖症IIIA型 (サンフィリップ症候群A型)	前臨床				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用 2023年度 Ph1/2試験
JR-446	△コ多糖症IIIB型 (サンフィリップ症候群B型)	前臨床				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用 2023年度 Ph1/2試験
JR-479	GM2ガングリオシドーシス (サンドホフ病、テイ・サックス病)	前臨床				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用 ~2025年度 Ph1試験
JR-162	ポンペ病	前臨床				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用
JR-443	△コ多糖症VII型 (スライ症候群)	前臨床				<ul style="list-style-type: none"> J-Brain Cargo® 適用
★ JR-401X	SHOX異常症における低身長	製造販売承認申請				<ul style="list-style-type: none"> グロウジェクト® 適応拡大
★ JR-142	小児成長ホルモン分泌不全性低身長症	臨床第2相試験 (症例登録完了)				<ul style="list-style-type: none"> 持続型成長ホルモン製剤 2023年度 Ph3試験
JR-031HIE	新生児低酸素性虚血性脳症	臨床第1/2相試験				<ul style="list-style-type: none"> テムセル®HS注 適応拡大

J-Brain Cargo[®]技術の分子デザインにおける特徴



差別化ポイント	なぜ重要か？
BBBをターゲットにしやすい	<ul style="list-style-type: none"> 指向性 BBB > 末梢組織
高親和性	<ul style="list-style-type: none"> 低用量であるため、点滴時間が短く、注入時反応を管理可能
多様な結合能、親和性、エピトープ、モダリティ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な疾患・モダリティに適用可能
安全性	<ul style="list-style-type: none"> 確立された安全性プロファイル

JR-141

イズカーゴ® (日本における製品名)

pabinafusp alfa (血液脳関門通過型 遺伝子組換えイズロン酸-2-スルファターゼ)

◆ 2022年10月現在：米国・ブラジル・欧州で治験サイトを順調に拡大しつつ、患者組み入れを実施中。
また、新たな地域での治験開始準備中。

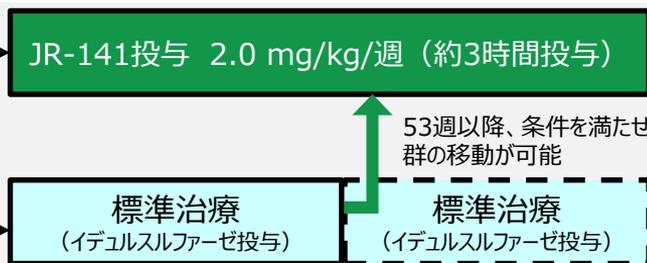
(試験概要)

◆ Cohort A :
(Neuronopathic patients)

N=60



標準治療
(イデュルスルファターゼ投与)



中間解析の結果で
申請することも検討



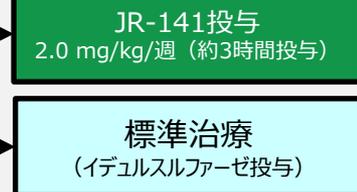
最終解析

◆ Cohort B :
(Attenuated patients)

N=20



標準治療
(イデュルスルファターゼ投与)



解析

JR-141

イズカーゴ® (日本における製品名)

pabinafusp alfa (血液脳関門通過型 遺伝子組換えエイズロン酸-2-スルファターゼ)

試験目的 : JR-141-GS31

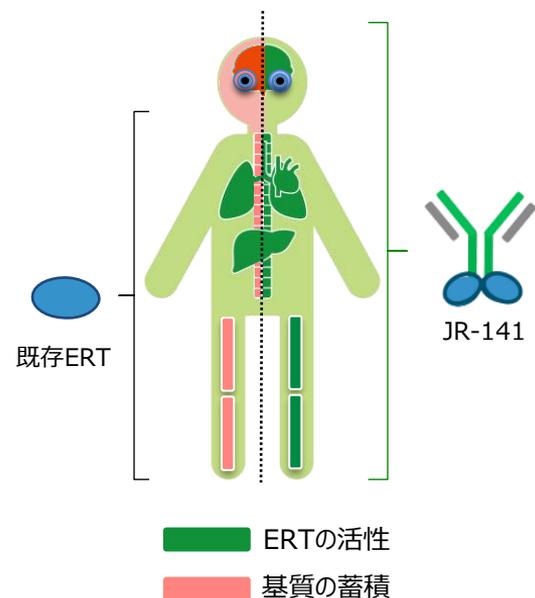
1. JR-141投与が既存の酵素補充療法と比較し、中枢神経系の徴候および症状に対して有効であること

JR-141は脳内の基質減少によって、ムコ多糖症II型患者の神経学的徴候および症状に対して、優れた活性を有すると予想される。

2. JR-141投与が既存の酵素補充療法と比較し、同等の身体的徴候および症状の抑制を示すこと。

JR-141は、既存の酵素補充療法と同等の身体症状およびバイオマーカーを抑制することが期待される。

(さらに、JR-141は二重の取り込み機構 (TfR、M6PR) により、さらに症状を抑制する可能性をもつ)



グローバル臨床第1/2相試験 (JR-171-101) : 試験概要

Part 1 試験デザイン

N=4

- ✓ 18歳以上
- ✓ 知的障害がない、または軽度



4 週間



安全性評価

Part 2 試験デザイン

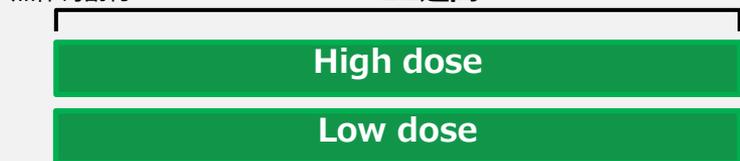
N=14以上

- ✓ 0歳以上(米国は2歳以上)
- ✓ 疾患の重症度は問わない



無作為割付

12週間

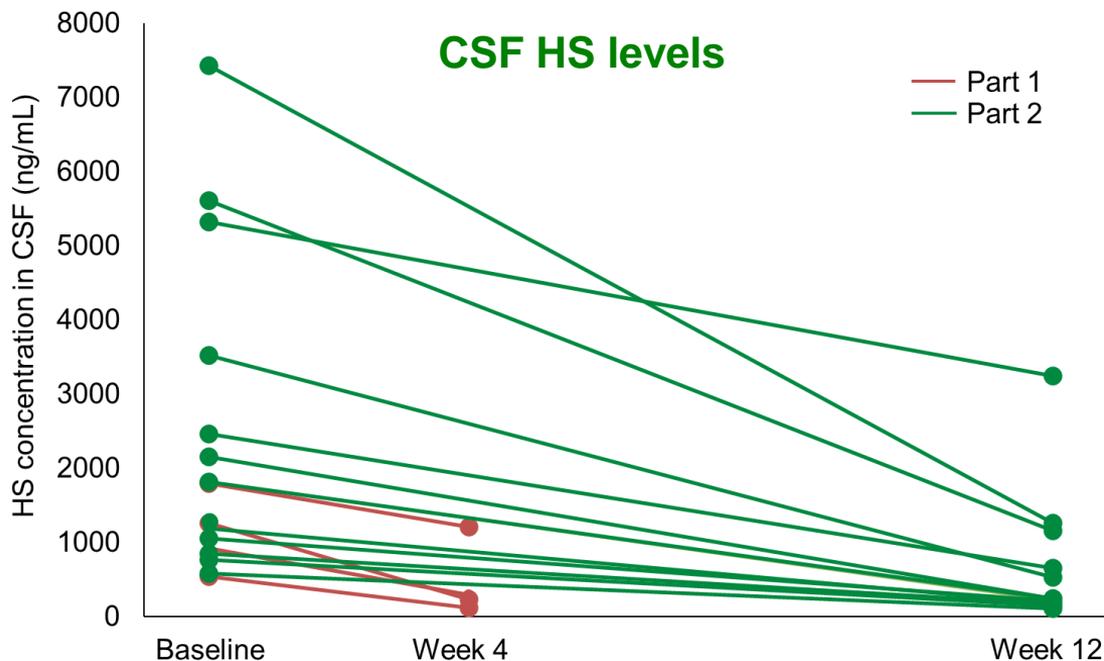


継続試験

	Part1	Part2
主要評価項目	安全性	
副次評価項目	血漿中薬物動態 中枢神経症状および全身症状に対する探索的有効性	
試験実施国	日本・ブラジル	日本・ブラジル・米国
試験詳細	clinicaltrials.gov : NCT04227600	



グローバル臨床第1/2相試験 (JR-171-101)



全ての被験者でCSF中のHSが減少した。

CSF : 脳脊髄液
HS : ヘパラン硫酸

- **2022年9月：オランダ王国に、欧州の臨床開発拠点JCR Europe B.V.を設立**
 欧州におけるグローバル臨床開発能力、ノウハウ、物理的プレゼンスを構築・強化

 JR-141 (イズカーゴ®) : 先駆け審査指定制度
 JR-141 (イズカーゴ®) : オーフアンドラッグ

Japan : JCRファーマ

- ・国内およびグローバル開発の企画、実施

USA : JCR USA

- ・臨床開発拠点、CRO管理
- ・薬事対応
- ・ステークホルダーとの連携



JR-141 : オーフアンドラッグ
 JR-141 : ファストトラック
 JR-171 : オーフアンドラッグ
 JR-171 : ファストトラック

Europe : JCR Europe

- ・臨床開発拠点
- ・薬事対応
- ・メディカルアフェアーズ
- ・ステークホルダーとの連携



JR-141 : オーフアンドラッグ
 JR-141 : PRIME
 JR-171 : オーフアンドラッグ
 JR-441 : オーフアンドラッグ

Brazil : JCR DO BRASIL

- ・薬事対応
- ・CRO管理
- ・メディカルアフェアーズ
- ・ステークホルダーとの連携



JR-141 : RDC
 JR-171 : RDC

➤ グローバル供給にむけ製造能力を拡大中



日本:



自社開発の製法プロセスの確立と、充実した自社バイオ製造能力により、治験薬および商業用製品の安定供給とコスト効率の良い製造が可能。

工場	シングルユースもしくはステンレス培養器
室谷工場	2x 400L; 2x 80L
	2x 2,000L; 2x 200L
神戸原薬工場	2x 2,000L; 2x 200L
神戸工場	製剤（全製品）
西神工場	再生医療等製品
神戸サイエンスパークセンター	4x 2,000L, 4x 200L（予定）
合計	8x 2,000L; 2x 400L; 8x 200L, 2x 80L

台湾:



当社品目に親和性があり、資本参加により当社生産キャパシティの柔軟性が拡張

神戸サイエンスパークセンター（建設中）

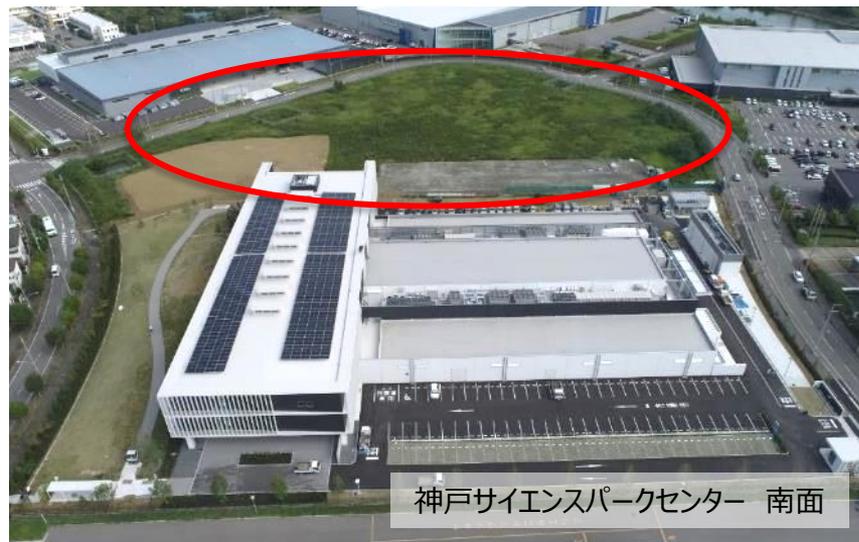
- 厚生労働省「新型コロナウイルスワクチン等生産体制整備臨時特例交付金にかかる助成金」を利用
- 11月上旬竣工予定**
- 稼働開始は2023年度春以降



神戸サイエンスパークセンター 西面

新製剤工場（2022/10/26決議）

- 神戸サイエンスパークセンターの隣接地（土地取得は2022年3月）
- 経済産業省「ワクチン等生産体制整備事業採択における助成金」を利用（助成額は今後決定）



神戸サイエンスパークセンター 南面

➤ 両工場ともに、ワクチン等の製造要請が無い場合は自社バイオ医薬品の製造を行う

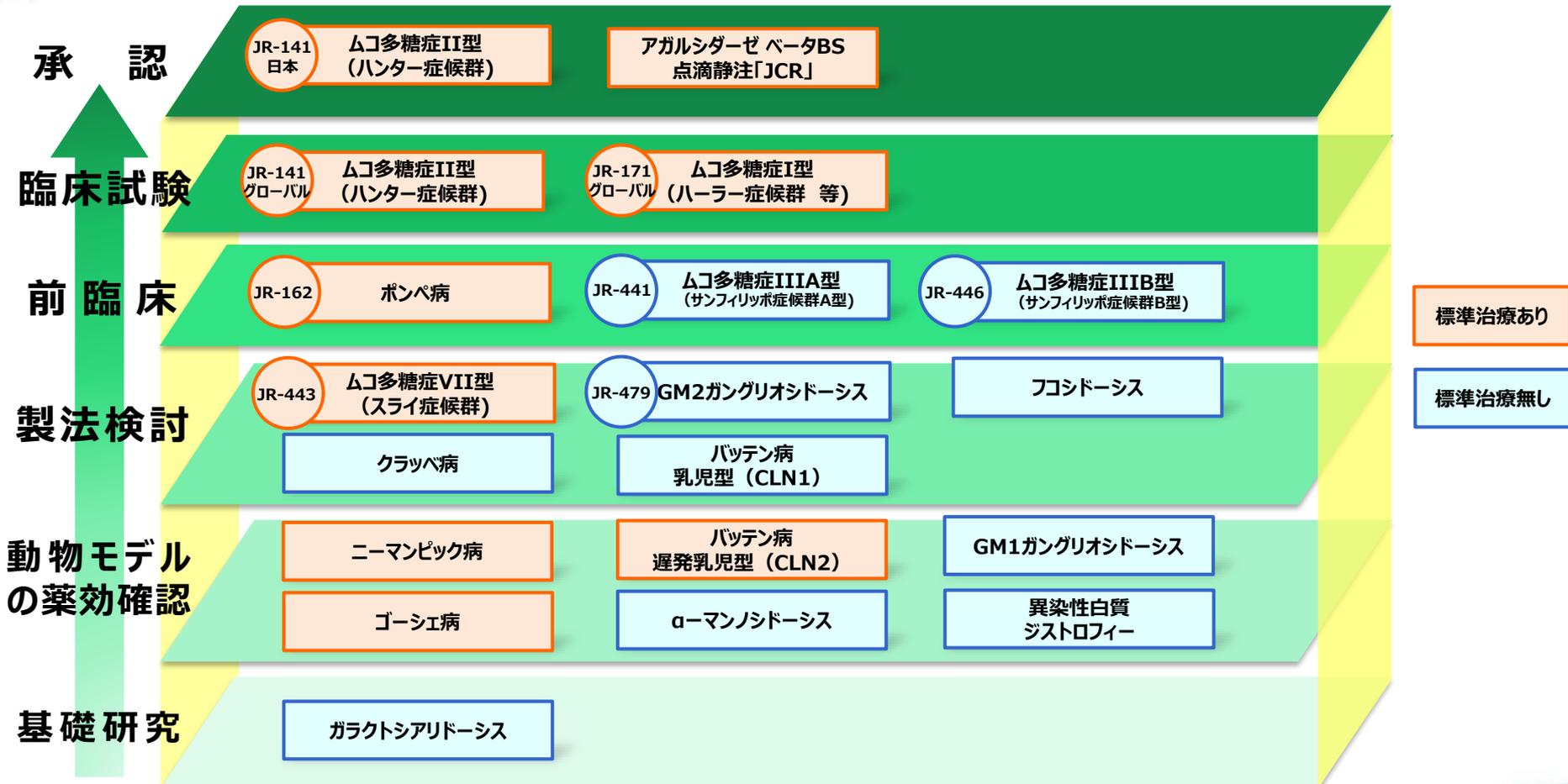
開発パイプライン（ライソゾーム病） 今後の想定タイムライン

*すべて現時点での予定

※年度：4月～翌年3月

	2022年度*	2023年度	2024年度	2025年度
JR-141 pabinafusp alfa (Δコ多糖症II型)	グローバル：臨床第3相試験（実施中）			<ul style="list-style-type: none"> 先駆け審査指定制度（日本） オーファンドラッグ（日本） オーファンドラッグ（米国） ファストトラック（米国） オーファンドラッグ（欧州） PRIME（欧州）
JR-171 lepunafusp alfa (Δコ多糖症I型)	グローバル：臨床第1/2相試験（解析中）	臨床第3相試験開始		<ul style="list-style-type: none"> オーファンドラッグ（米国） ファストトラック（米国） オーファンドラッグ（欧州）
JR-441 (Δコ多糖症IIIA型)		臨床第1/2相試験開始		<ul style="list-style-type: none"> オーファンドラッグ（欧州）
JR-162 (ポンペ病)	非臨床試験（実施中）			
JR-443 (Δコ多糖症VII型)	非臨床試験（実施中）			
JR-446 (Δコ多糖症IIIB型)	非臨床試験（実施中）		臨床第1/2相試験開始	
JR-479 (GM2ガングリオシドーシス)	非臨床試験（実施中）		臨床第1/2相試験開始	

開発ステージ（JCRが取り組む18のライソゾーム病治療薬）





臨床第2相試験 (JR-142-201) : 試験概要

◆ **症例登録を完了**
(第1例目への投与開始 : 2021年5月)



対象	骨端線閉鎖を伴わない小児成長ホルモン分泌不全性低身長症 (小児GHD)
目的	<ul style="list-style-type: none"> PK/PDプロファイルの確認 JR-142各用量群における成長促進効果の比較検討・用量選択 (対照 : グロウジェクト投与群) 安全性の比較検討 (対照 : グロウジェクト投与群)
症例数	24名 (各群8名)
治験薬	JR-142 / グロウジェクト® ※いずれもオートインジェクターにて投与
試験詳細	jRCT(Identifier : jRCT2031200372)

※年度：4月～翌年3月

★：2022年5月から開発ステージの進捗があったプロジェクト

今後の想定タイムライン（成長ホルモン領域）

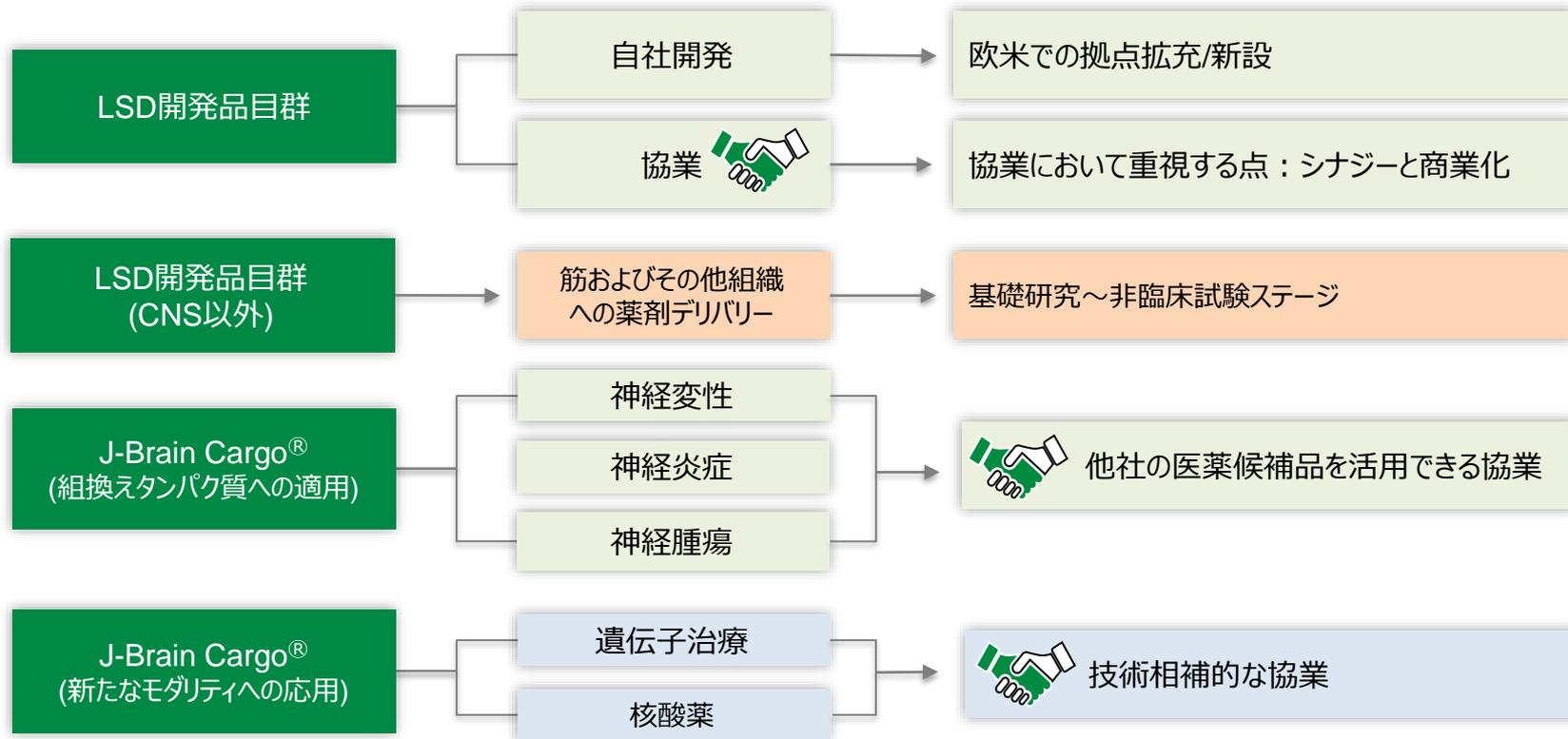
*すべて現時点での予定



*持続型成長ホルモン製剤

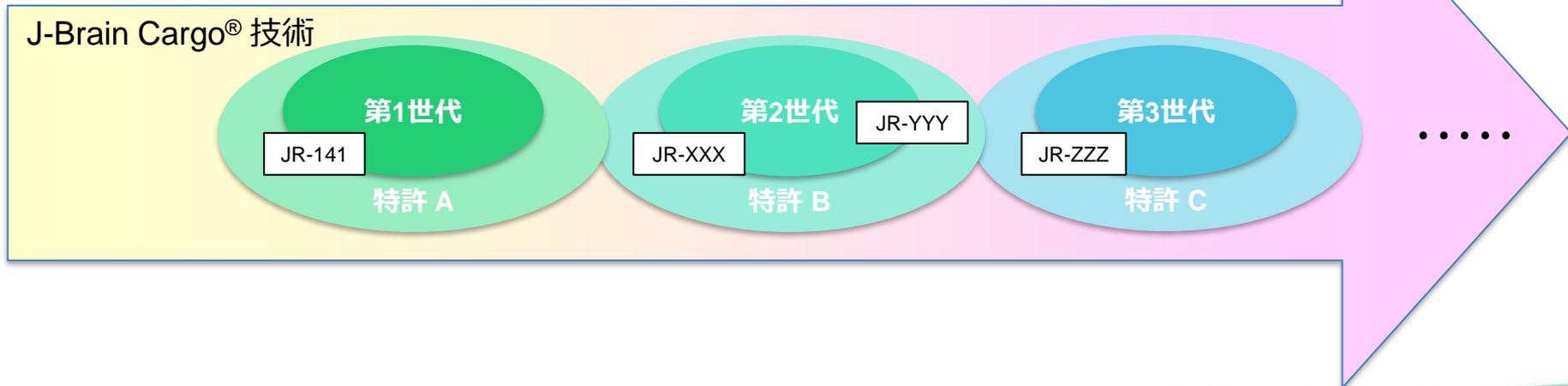
他社との協業により、当社の成長と新たな機会が生まれる

LSD：ライソゾーム病
CNS：中枢神経系



➤ 常に新規抗体創出へのチャレンジを続けること、それらを最適かつ強力な特許戦略によって保護することで、JCRはBBB通過技術領域のリーディングカンパニーとしてのポジションを確立する。

- J-Brain Cargo®技術を用いた新規抗体が継続的に得られており、それらはすべて適切な特許又は特許出願によって適切に保護されている。
- J-Brain Cargo®シリーズ製品は、常に最新の抗体が適用されているため、最新の特許により長期的な独占市場が得られる。
- 各製品とプラットフォームは、ArmaGen, Inc.が保有する特許又は特許出願により、さらに強固に保護される。



合併会社 AlliedCel株式会社の設立

➤ 2022年10月3日：シスメックス株式会社と造血幹細胞をはじめとする幹細胞やその他の細胞を用いた再生医療等製品の研究開発等を行う合併会社AlliedCel社を設立



品質管理検査の技術やIoTを含むロボット技術を活用したワークフローの効率化に関する知見



再生医療等製品の開発・製造・販売の実績やノウハウ

所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番5号
資本金	1億円
資本準備金	1億円
出資比率	シスメックス 50%、JCR 50%
役員（代表取締役）	代表取締役社長 藺田 啓之（JCRファーマ株式会社 常務取締役 研究・経営戦略担当 研究本部長） 代表取締役副社長 辻本 研二（シスメックス株式会社 技術戦略本部長）
事業内容	再生医療等製品の研究開発、製造および販売



– REVOLUTION into the Future –

注意事項

本資料中の開発見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知ください。そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的財産権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

注意事項

本資料に掲載した臨床開発のデータは、今後の結果を保証するものではなく、また、開発中の製品の効能・効果を保証するものではありません。

本資料は、開発中の製品の効能・効果を保証・宣伝・広告するものではありません。

本資料に掲載した臨床開発のデータは、現時点で学会発表ならびに査読のある学術誌に公表されていないものが含まれております。今後、公表するように努めます。

フェア・ディスクロージャー・ルールにのっとり、本資料に掲載した以外のデータは、質疑応答においても公表いたしません。ご理解いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況によっては今後、臨床試験の進捗に影響がでる可能性があることをご承知ください。

Appendix

開発パイプライン (ライソゾーム病)

JR-141 pabinafusp alfa 血液脳関門通過型 遺伝子組換えアイズロン酸-2-スルファターゼ

適応症 :	ムコ多糖症II型 (ハンター症候群)
患者数*1 :	約250人 (日本)、約7,800人 (WW)
想定市場規模*2 :	約76億円 (2019年/日本)、約870億円 (2019年/WW)
疾患概要 :	ムコ多糖を体内で分解する酵素 (Iduronate-2-sulfatase) の欠損により発症するX染色体劣性遺伝性疾患。ヘパラン硫酸 (HS) やデルマタン硫酸 (DS) が全身の組織に蓄積し、関節拘縮やコブ変形、肝臓・脾臓の肥大、呼吸障害、弁膜症状等、幅広い症状が挙げられるが、特に中枢神経症状の進行抑制が課題となっている。

JR-171 lepnafusp alfa 血液脳関門通過型 遺伝子組換え α -L-イズロニダーゼ

適応症 :	ムコ多糖症I型 (ハーラー症候群、ハーラー・シャイエ症候群、シャイエ症候群)
患者数*1 :	約60人 (日本)、約3,600人 (WW)
想定市場規模*2 :	約700億円 (2019年/WW)
疾患概要 :	ムコ多糖を体内で分解する酵素 (α -L-イズロニダーゼ) の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。ヘパラン硫酸 (HS) やデルマタン硫酸 (DS) が全身の組織に蓄積し、中枢神経症状、関節病変、低身長、角膜混濁、心臓弁膜症、肝脾腫など幅広い症状がある。既存の治療酵素製剤は血液脳関門を通過できないため、脳内で薬効を発揮できず、中枢神経症状に対し効果が期待できないことが重大な課題となっている。

*1 患者数：厚生労働省班研究等の公開情報及び自社調査を元に算出 *2 市場規模：JCR調べ

開発パイプライン (ライソゾーム病)

JR-441

血液脳関門通過型 遺伝子組換えヘパランN-スルファターゼ

適応症 :	ムコ多糖症IIIA型 (サンフィリップ症候群A型)
患者数*1 :	約30人 (日本 : A型、B型総数) 、約4,000人 (WW)
想定市場規模*2 :	> 700億円 (2019年/WW : A型、B型総数)
疾患概要 :	ムコ多糖を体内で分解する酵素 (Heparan-N-sulfatase) の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。症状として、特に中枢神経障害が急速に進行し、発達年齢は 2、3 歳をピークとしてその後退行する。A型は比較的重症であると言われている。 治療法として、造血幹細胞移植が考慮されるが効果は明らかではない。

JR-162

J-Brain Cargo®適用 遺伝子組換え酸性α-グルコシダーゼ

適応症 :	ポンペ病
患者数*1 :	約80人 (日本) 、約10,000人 (WW)
市場規模*2 :	約30億円 (2019年/日本) 、約1,100億円 (2019年/WW)
疾患概要 :	グリコーゲンの分解に必要な酵素 (acid α-glucosidase) の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。筋細胞や神経細胞内にグリコーゲンが蓄積することにより症状が現れる。乳児型は生後2か月で哺乳力低下、筋力低下が出現し、自然歴では18か月までに心機能障害、呼吸障害により死亡する。遅発型は筋力低下や呼吸筋の筋力低下をきたす。また、症状の一つに、 <u>中枢神経障害</u> がある。

*1 患者数 : 厚生労働省班研究等の公開情報及び自社調査を元に算出 *2 市場規模 : JCR調べ

JR-443

血液脳関門通過型 遺伝子組換えβ-グルクロニダーゼ

適応症 :	ムコ多糖症VII型 (スライ症候群)
患者数*1 :	数名程度 (日本)、約200人 (WW)
想定市場規模*2 :	約98億円 (2019年/WW)
疾患概要 :	ムコ多糖を体内で分解する酵素 (β-glucuronidase) の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。ヘパラン硫酸、デルマタン硫酸が蓄積する。症状として骨変形、関節拘縮のほか、重症患者には中枢神経障害が認められる。治療法として、造血幹細胞移植および酵素補充療法があるが、中枢神経障害を含む病態への明確な効果は認められていない。

JR-446

血液脳関門通過型 遺伝子組換えα-N-アセチルグルコサミニダーゼ

適応症 :	ムコ多糖症IIIB型 (サンフィリッポ症候群B型)
患者数*1 :	約30人 (日本：A型、B型総数)、約1,800人 (WW)
想定市場規模*2 :	> 700億円 (2019年/WW：A型、B型総数)
疾患概要 :	ムコ多糖を体内で分解する酵素 (α-N-acetylglucosaminidase) の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。ヘパラン硫酸が蓄積する。症状として、特に中枢神経障害が急速に進行し、発達年齢は2、3歳をピークとしてその後退行する。治療法として、造血幹細胞移植が考慮されるが、効果は明らかではない。

*1 患者数：厚生労働省班研究等の公開情報及び自社調査を元に算出 *2 市場規模：JCR調べ

JR-479

血液脳関門通過型 遺伝子組換えβ-ヘキソサミニダーゼA

適応症	GM2ガングリオシドーシス（テイ・サックス病、サンドホフ病）
患者数*1	約30人（日本）、TBD（WW）
想定市場規模*2	TBD
疾患概要	ライソゾーム病の一種で、糖脂質であるGM2ガングリオシドを体内で分解する酵素（β-ヘキソサミニダーゼA）の欠損により発症する常染色体劣性遺伝性疾患。脳を中心に原因基質が蓄積するため、進行性の中樞神経症状を呈する。テイ・サックス病とサンドホフ病は臨床症状で区別することは困難

*1 患者数：厚生労働省班研究等の公開情報及び自社調査を元に算出 *2 市場規模：JCR調べ

開発パイプライン（成長ホルモン領域、再生医療等製品）

JR-142

遺伝子組換え持続型成長ホルモン

適応症	小児成長ホルモン分泌不全性低身長症
技術特徴	独自の改変型アルブミンを融合させることにより、 バイオ医薬品の血中半減期を大幅に延長させる技術を開発（特許出願済）

JR-401X

遺伝子組換えソマトロピン（グロウジェクト®適応拡大）

適応症	SHOX異常症における低身長症
年間発症者数*	約450-500人（日本）

JR-031HIE

ヒト間葉系幹細胞（テムセル®HS注 適応拡大）

適応症	新生児低酸素性虚血性脳症
発症率*	正期産出生数1000人に対し2.5人（WW） （治療対象：標準治療である低体温療法適応となる中等度～重度の患者 150-200人/年）

*JCR調べ

開発パイプライン（ライソゾーム病） 今後の想定タイムライン

*すべて現時点での予定

※年度：4月～翌年3月



	2022年度*	2023年度	2024年度	2025年度
JR-141 pabinafusp alfa (Δコ多糖症II型)	グローバル：臨床第3相試験（実施中）			<ul style="list-style-type: none"> 先駆け審査指定制度（日本） オーファンドラッグ（日本） オーファンドラッグ（米国） ファストトラック（米国） オーファンドラッグ（欧州） PRIME（欧州）
JR-171 lepunafusp alfa (Δコ多糖症I型)	グローバル：臨床第1/2相試験（解析中）	臨床第3相試験開始		<ul style="list-style-type: none"> オーファンドラッグ（米国） ファストトラック（米国） オーファンドラッグ（欧州）
JR-441 (Δコ多糖症IIIA型)		臨床第1/2相試験開始		<ul style="list-style-type: none"> オーファンドラッグ（欧州）
JR-162 (ポンペ病)	非臨床試験（実施中）			
JR-443 (Δコ多糖症VII型)	非臨床試験（実施中）			
JR-446 (Δコ多糖症IIIB型)	非臨床試験（実施中）		臨床第1/2相試験開始	
JR-479 (GM2ガングリオシドーシス)	非臨床試験（実施中）			臨床第1/2相試験開始

今後の想定タイムライン（成長ホルモン領域）

*すべて現時点での予定



*持続型成長ホルモン製剤

今後の想定タイムライン（細胞治療・再生医療等製品）

*すべて現時点での予定

